

●●●スポーツの意義 ●●●

スポーツは、わたしたちの生活に、以下のような多面的な効果をもたらすことが期待されています。

個人的効果
体力の向上
健康維持・増進
生きがい

社会的効果
仲間とのふれあい
コミュニティの再生
青少年の健全育成

経済的効果
スポーツツーリズム
医療費の抑制
スポーツ施設建設

資料：スポーツ白書「スポーツの新たな価値の発見」（笹川スポーツ財団）

●●●本計画における「スポーツ」の定義 ●●●

日野市スポーツ推進計画では、年代や運動能力、障害の有無等に関係なく、すべての市民がそれぞれのライフスタイルに応じて楽しみ、関わっていただける「する」「観る」「支える」スポーツすべてを「スポーツ活動」と捉えます

スポーツを
する

競技スポーツから
日常生活まで体を
使った運動すべて

競技スポーツ



健康づくり



レクリエーション



日常生活での
ちょっとした運動



スポーツを
観る

家族や友人、スポーツ
チームの応援・観戦

家族や友人を応援



スポーツチームを応援・観戦



スポーツを
支える

家族や友人、地域スポーツ
のサポートや
ボランティア活動

地域スポーツのサポート



イベントボランティア活動



日野市スポーツ推進計画
発行：日野市
編集：日野市まちづくり部文化スポーツ課

〒191-8686
東京都日野市神明 1-12-1
電話：042-585-1111 FAX：042-583-4483
E-mail：sports@city.hino.lg.jp

日野市スポーツ推進計画 概要版

●●●計画の期間 ●●●

平成 27 (2015) 年度 から 平成 32 (2020) 年

●●●計画の目的 ●●●

目的 1 ヘルスケア・ウェルネスコミュニティによるスポーツ環境の創出

☞ 行政や企業などの垣根を越えた、連携・協働により、新たなスポーツ環境をつくり出します。



目的 2 充実したスポーツ活動の推進

☞ 誰もが参加しやすいスポーツ大会を奨励し、充実したスポーツ活動に寄与します。



目的 3 誰もが利用しやすいスポーツ環境の整備

☞ 老朽化したスポーツ施設の改修はもとより、市民ひとりひとりのライフスタイルに沿ったスポーツ環境を整備します。



目的 4 健康意識の啓発

☞ 日常生活の中でも取り組めるスポーツ活動を推進、市民の健康意識の啓発に寄与します。



●●●計画の目標 ●●●

目標 1 | 週 1 回のスポーツ実施率を **43.6%** ⇒ **70%** に！

☞ 週 1 回以上のスポーツ実施率が、東京都の掲げる世界トップレベルの 70% となることを目指します。

目標 2 | 週複数回のスポーツ実施率を **76.5%** ⇒ **80%** に！

☞ 指標 1 のうち、週に複数回の実施率が 80% となることを目指します。

目標 3 | 市内体育施設の年間利用者数を約 **72 万人** ⇒ 約 **83 万人** に！

☞ 市内体育施設の更なる時間的・空間的活用を図り、利用者数 11 万人の増加を目指します。

目標 4 | 市主催スポーツ事業への参加者数を約 **9 万人** ⇒ 約 **13 万人** に！

☞ 市主催の市民ニーズに沿ったスポーツ事業を積極的に実施し、参加者数 4 万人の増加を目指します。

日野市文化スポーツ課

●●● スポーツ推進計画の考え方 ●●●

これからのスポーツ活動は、健康を意識し、市民一人ひとりの自主的・主体的な取り組みを尊重するとともに、市民・地域・行政が協働して推進することが基本となります。今後、市民の健康・スポーツ活動の活性化と地域スポーツ社会の形成を目指し、4つの基本施策及び9つの具体的施策を定め、課題の解決、目標の実現に向け、以下の通り推進事業を展開していきます。

課題の解決 & 目標の実現へ
⇒ 4つの基本施策と 9つの具体的施策の展開

日野市のスポーツ推進における課題

- 「する」スポーツ
 - 老朽施設の改善・整備
 - 道路環境整備
 - 多様なニーズへの対応等
- 「観る」スポーツ
 - 周知・啓発活動
 - 情報基盤の整備
 - 観戦機会の創出等
- 「支える」スポーツ
 - ボランティアの育成
 - 人材の育成
 - 指導者の育成 等

基本施策1 スポーツをする「場」の整備と充実

☞ 2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機とした施設整備、効率的な運営を図ります。市民一人ひとりのライフスタイルに沿ったスポーツ環境、地域スポーツ活動の拠点となる市内体育施設を整備します。また、生活の中にスポーツが根付くよう、「歩きたくなるまちづくり」を推奨していきます。

具体的施策	推進事業	
(1) スポーツ基盤の整備・充実	a. 公共スポーツ施設の整備・充実	b. 学校体育施設の利活用
	c. 公共体育施設等のバリアフリー化	d. 公共施設のスポーツによる利用促進
(2) 歩きたくなるまちづくりの推進	a. 歩きたくなるまちづくりの推進	



基本施策2 スポーツの実践に向けた支援と情報発信

☞ スポーツをするきっかけづくりや、実践する機会、継続のサポートを行い、日常生活の中で習慣的にスポーツが取り組めるまちづくりを目指します。また、体育施設の充実と並行して、市民がスポーツに関する情報を容易に得られるような情報基盤の整備を行っていきます。

具体的施策	推進事業	
(3) 産官学の連携による新たなスポーツ環境の創出	a. 企業との連携	b. 大学との連携
	c. 東京ヴェルディ 1969 との連携	d. 保健・医療分野と連携した健康づくりの推進
(4) スポーツ参加促進事業の推進	a. 多様なアプローチによるスポーツに対する意識の啓発	b. スポーツ推進委員による多世代へ向けたスポーツ事業の展開
	c. スポーツ実施率が低い市民への積極的アプローチ	d. 子どもたちへのスポーツ活動の支援と充実
	e. 障害者スポーツの普及と推進	f. 高齢者が気軽に楽しむことのできるスポーツ活動の推進
(5) スポーツ情報基盤の整備	a. 地域スポーツ情報のネットワーク化	b. 地域におけるスポーツイベント等のリアルタイムな情報の提供
	c. スポーツ関連情報の一元化	



基本施策3 スポーツに関わる団体支援と人材の育成

☞ 総合型地域スポーツクラブ、サークル・団体の育成を支援するとともに、スポーツボランティア等の育成・確保を図ります。また、競技スポーツ推進のため、スポーツ競技者を支援し、技術力・競技力向上に向けた施策の展開を図ります。2020年の東京オリンピック・パラリンピックを契機に、スポーツをはじめとする人的レガシーの形成を目指します。

具体的施策	推進事業	
(6) スポーツボランティアの育成	a. スポーツボランティアの育成	
(7) 競技力向上と裾野拡大	a. 日野市体育協会との連携	b. トップクラス選手の競技力強化支援
	c. スポーツ指導者の育成	d. 市民サークル・団体の支援
(8) 2020年東京オリンピック・パラリンピックのレガシー創生	a. 2020年東京オリンピック・パラリンピックのレガシー創生	



基本施策4 計画の推進

☞ 市民のスポーツ活動を支え、自立した地域スポーツ社会の形成に向けた施策を推進する行政関連機関内部の連携を進め、指標の達成に向けて進捗確認を行います。

具体的施策	推進事業
(9) 推進体制の整備と進捗確認	a. 推進体制の整備と進捗確認